2026年11月16日

各 位

会 社 名　株式会社リンクバル
代表者名　代表取締役社長 CEO　吉弘 和正
（コード番号:6046　東証スタンダード）
問合せ先　取締役COO　松岡 大輔
財務経理部 部長
（TEL. 050-1741-2300）

上場維持基準への適合に向けた計画（改善期間入り）

当社は、2026年９月30日時点（以下、「基準日」）において、東京証券取引所スタンダード市場における上場維持基準に適合しない状態となりました。下記のとおり、上場維持基準への適合に向けた計画を作成いたしましたので、お知らせいたします。

1. 当社の上場維持基準への適合状況、計画期間及び改善期間

当社の基準日時点における東京証券取引所スタンダード市場の上場維持基準への適合状況は、下表のとおりとなっており、流通株式時価総額については基準に適合しておりません。当社は、今回不適合となった流通株式時価総額基準を充たすために、上場維持基準への適合に向けた各種取組みを進めてまいります。

	株主数	流通株式数	流通株式 時価総額	流通株式 比率
当社の適合状況 （基準日時点）	4,916人	68,986単位	9.57億円	35.3%
上場維持基準	400人	2,000単位	10億円	25.0%
計画期間（改善期間）	―	―	2027年９月末まで	―

※当社の適合状況は、基準日時点で当社にて把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。
※1単元以上の株式を所有する株主数を記載しております。

2. 上場維持基準への適合に向けた取組みの基本方針

当社は、上場維持基準の「流通株式時価総額」基準の充足に向け、主として「株価（企業価値）」の向上を進めるべく、「企業価値の向上」と「当社株式への投資魅力の強化」により、上場維持基準に適合するよう目指してまいります。

3.　上場維持基準に適合していない項目ごとの課題と取組内容

（1）流通株式時価総額基準について

・課題

流通株式時価総額が基準値を下回った要因として、2021年9月期から当社グループの業績が低迷し、スタンダード市場において求められる成長性を当社グループが示すことができなかったこと、情報発信の不足により、株価が低迷したことが主な要因であると認識しております。

・取り組み内容

① 事業成長による企業価値の向上

当社は、主要サービスである「machicon JAPAN」において、2026年9月期より自社大型イベントによる新規顧客の獲得が順調に推移し、前年比で全四半期増収となっております。2027年9月期におきましては、開催数および開催エリアの拡大により成長を加速させてまいります。加えて、成長著しいAI領域においても事業成長を推進します。当社の子会社であるMiDATAの高い技術力を活かし、AI導入需要のある企業に対して、PoCから導入、本格運用まで一気通貫で支援する高次元のソリューションを提供することで、持続的な成長を実現いたします。これらの取組みを通じて、当社は持続的な黒字経営を維持しつつ、安定的かつ成長志向の体制を確立してまいります。

② 株主還元施策の検討

当社は、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題の一つとして位置づけております。2026年9月期より開始した株主優待制度を継続し、株主との中長期的な関係強化を図ってまいります。これにより、株式の流動性向上と当社株式への関心喚起を通じて、市場評価の向上を目指します。

③ IR活動の強化

当社は、企業価値や成長性を投資家・市場関係者の皆様に正しく理解いただくため、IR活動の質と量の両面で強化を進めております。具体的には、中期的な成長戦略や四半期ごとの業績動向の発信を強化し、機関投資家・個人投資家との対話機会を拡充いたします。また、ウェブサイトや説明資料の内容を充実させ、透明性の高い情報開示を継続してまいります。これらの取組みを通じて、市場からの適正な評価獲得と株主層の拡大を実現し、持続的な企業価値向上につなげてまいります。

当社は、これらの取組みを通じて、健全な収益基盤を維持しつつ市場からの信頼と評価を高め、上場維持基準への早期適合を目指し、企業価値の一層の向上に取り組んでまいります。

以上